

「完璧」やめよう 男の介護

「男の介護」が増えている。かつて介護は主に女性が支えていたが、今や男性が3割を超える。弱音を吐けず、苦しみを抱え込んでしまいがちな男性が介護に向き合う時は、どんな点に注意すればいいのだろ。

いまや3割支援が急務

女性の社会参加が進み、介護を担ってきた専業主婦が減る一方、核家族化で「老老介護」も増え、介護する男性は増加した。厚生労働省の昨年の国民生活基礎調査では、介護者の31・3%が男性だった。

男性介護者を支援する「シルバーパックの会」（長野県上田市）によると、男性は介護を仕事の延長ととらえ、完璧にこなそうとする傾向がある。他人に迷惑はかけられないと思いつかちで、なかなか弱音が吐げず、孤立を深めていくケースが後を絶たない。

同会は、男性介護者に少しでも樂になつてほしいと、心得5カ条を^{羽生正宗}提唱する。

（医療福祉経営論）が2006～昨年6月の朝日新聞記事を調べたところ、介護殺人や未遂、心中事件は164件発生。加害者の69%が男性で、夫が妻に害を加えた例

よる)、06年10月からの1年間に、2万5600人の男性が介護や看護で職を離れた。

育児・介護休業法は年間93日までの介護休業を認めている。休業開始時点の賃金の40%を支給する介護休業給付制度もある。

だが厚労省の08年度の調査では、介護休業の規定を導入した従業員30人以上の企業が85・5%だったのに対し、実際に取った男性は0・1%に満たなかった。

つどいで悩
キ減った。デイサービスを利用する。
まで「地獄だった」と振り返る。
支部は5年前の秋から年3回、男
性介護者のつどいを開く。料理が大

お、トイケアを利用する。その間
み吐き出す

が33%、一戸子が窓に」は20%だった。羽生さんは「介護者支援の法整備を急ぐとともに、地域包括支援センターの職員が介護者を訪問するなど行政の積極的な介入も

認知症の人と家族の会 福岡県支部が11月初め、福岡市で開いた男性介護者のつどい。認知症の80代の両親を介護する男性(51)は、こう不満を打ち明けた。

【A君／いじらしの例もある】
県下松市の男性(71)の自宅のかれん
ダーには、テニスや俳句、ボウリング、
クなど予定がびっしり。「精いっぱい
い遊ぶことがストレス解消になる」

—6月からパートで働き始めた。病院にも連れて行かないといけないので、いつ辞めてもいいような仕事をじゃないと正社員は望めないですね

- ・立命館大教授（地域福祉論）は「介護事業者やボランティアら、男性のSOSの声に応えようと備える人は多い」と話す。

つどいで悩み吐き出す

男の介護 心得5力条

- ①自分の時間と健康を大切にし、相談できる仲間と共に介護の道を歩んでいこう
 - ②自分でできることは、頼る勇気を持とう
 - ③介護で苦しんでいるのは自分でできることを忘れず、これまで生き抜いてきた己の力を信じよう
 - ④老い・病に対して無力であり、死を考えることは愚かなことだと認めよう
 - ⑤介護の基本を理解した上で、この世に完璧な介護など存在しないということを心に留めておこう

男性介護者の特徴

- ▽胸の内を吐き出すことが苦手
 - ▽地域住民との関わりが薄い
 - ▽配偶者と一心同体になりやすい
 - ▽介護保険サービスに、安心して委ねることができない
 - ▽家事労働に強い負担感を持つ
 - ▽仕事と介護の両立に悩む（いずれも「シルバー」（バックの会）による）

男性介護者を支援する動きは広がりつつある。09年には「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」(京都市)が発足。事務局長の津上正敏

き減った。デイサービスを利用するまで「地獄だった」と振り返る。支部は5年前の秋から年3回、男性介護者のつどいを開く。料理が大変、トイレ介助が苦痛、女性下着を貰うのが恥ずかしい、暴力をふるって後悔した……。世話人の岡村敏治さんは(72)は「男ならではの悩みを共

は好きなんだが、倒れる。自分が倒れたら妻はもうなるだねえ。そんな不安もある。